

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

一般社団法人 日本保育者未来通信

②施設・事業所情報

名称：プチ・ナーサリー弘明寺	種別：認可保育所
代表者氏名：増田 由紀子	定員（利用人数）： 60（52）名
所在地：〒232-0067 神奈川県横浜市南区弘明寺町148-5	
TEL：045-712-5800	ホームページ： http://kodomonomori.co.jp/ma/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2018年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社プチ・ナーサリー	
職員数	常勤職員： 12名 非常勤職員 3名
専門職員	園長： 1名 調理員： 1名
	保育士： 11名 保育補助： 1名
	栄養士： 1名
施設・設備 の概要	乳児室・ほふく室：2室 事務室・医務室：1室
	保育室・遊戯室：2室 調理室：1室
	園庭：279.17㎡

③理念・基本方針

<p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の個性を大切に愛されていると実感できる保育をします。 出来た時はたくさん褒めて自立していける環境作りを心がけます。 思いやりの心を育て、お友達が困っていたら助け、自分本位にならない力を身につけます。

④施設・事業所の特徴的な取組

<p>【季節に応じた製作活動に、計画的に取り組んでいます】</p> <p>季節（雨期、夏、秋など）に応じた保育活動の内容をクラスで計画し、園長が確認し実践しています。例えば、花を使った色水遊びや風船に和紙や花紙を貼ったちょうちん作りなど、時期に応じて子どもたち一人ひとりの育ちや興味を踏まえた製作活動に取り組んでいます。実践した内容は、実施後に振り返りを行い、次の計画に生かしています。さらに、活動内容については、スケッチブックを使用し文章や写真で知らせるとともに、製作物の玄関掲示などを通して子どもたちの活動の様子を保護者に伝えるようにしています。</p>

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年 6月17日（契約日） ～ 令和3年 3月29日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

【子どもたち一人ひとりが、十分に体を動かして遊べる活動に積極的に取り組んでいます】

例年、区が主催する駅伝に参加し、日頃の保育活動に取り入れています。公園に遊びに行った際は必ずマラソンを取り入れるとともに、雨の日は、室内にカラーコーンを置き、「1分半完走」として、1分半の間にカラーコーンの周りを走るという取り組みがされています。これらの取り組みは、保育室内に子どもたち一人ひとりの記録として掲示しています。

また、週に1回30分程度、2歳児から5歳児クラスでピアノに合わせて、体を動かすなどのリトミックの活動を取り入れています。乳児クラスはベビーマッサージなども取り入れています。さらに、縄跳び、ボール、鉄棒などを使った運動にも積極的に取り組んでいます。その他、日頃から室内に鉄棒や平均台、マットなどを用意し、一日を通して運動遊びが十分にできるよう工夫するなど子どもたち一人ひとりが十分に運動遊びを楽しめる取り組みがされています。

【園全体で一人ひとりの子どもたちの育ちに答えられるよう、環境が整えられています】

園全体で保育者のかかわり及び設備面において、一人ひとりの子どもたちの育ちに答えられるよう環境が整えられています。設備面においては、1階から2階に上がる階段の吹き抜け部分にアスレチックネットが張っており、子どもたちがダイナミックに体を動かして遊ぶ環境が整えられています。中長期計画において、運動遊びの備品の購入計画も立てられており、子どもたちの育ちをささえる環境づくりに努めています。

一方で休息できる場として、事務所のすぐ横には、木をモチーフにした、子どもたちが5～6人は入って遊べそうな隠れ家があります。また、2歳児クラスにも、木をモチーフにした秘密の部屋と呼ばれる隠れ家があり、そこにはじゅうたんが敷かれ、ゆったりと絵本を読む場所となっています。さらに、乳児がゆったりと過ごせるよう畳の部屋もあります。これらの環境を整えた中で、職員は一人ひとりの子どもたちの育ちを踏まえ、子どもたちが自発的に遊べるよう、必要に応じた援助をする見守り保育を実践しています。

◇改善を求められる点

【園目標に沿った具体的な中長期計画の策定、及び単年度計画の策定が望まれます】

中長期計画は、初年度、3年後、5年後、10年後で立てられ、保育玩具の整備や保育・室内備品の整備など目標達成項目を明確にし、具体的な予算も添えて作成されています。

しかし、園の保育目標である「相手を思いやる心を養う」「友達との関わり合いを喜べる気持ちを育む」などに対する具体的な計画の策定までには至っていません。また、中長期計画を踏まえた単年度計画については、「職員組織の認識、役割の徹底」「プチ・ナーサリー-弘明寺ならではの保護者サポートの実行」など具体的な重点目標は掲げられておりますが、数値目標や具体的な成果等の設定や、実施状況の評価を行える内容までには至っていません。

今後は、園目標に沿った具体的な中長期計画の策定、及び単年度計画の策定をし、さらなる目標に沿った取り組みが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

改めて見直しを行うと、自分達の反省点や改めて行ってみたい事なども見えてきた。

また、地域との連携の部分で取り組みを実施していかなければいけないこと、課題が多く見つかりました。

自分達では気づかない所を指摘して頂き、今後の課題が見つけれました。ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり